



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月12日

上場取引所 東名

上場会社名 リンナイ株式会社

コード番号 5947 URL <https://www.rinnai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内藤 弘康

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 管理本部長 (氏名) 額額 泰生

TEL 052-361-8211

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

(1) 連結経営成績(累計)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	251,851	△2.0	24,445	10.2	25,471	5.5	15,354	2.2
2019年3月期第3四半期	256,900	0.9	22,175	△10.8	24,148	△8.3	15,017	△10.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 12,173百万円 (12.1%) 2019年3月期第3四半期 10,855百万円 (△48.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	298.72	—
2019年3月期第3四半期	292.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	437,330	328,758	70.0
2019年3月期	430,885	320,696	69.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 306,224百万円 2019年3月期 299,136百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	46.00	—	48.00	94.00
2020年3月期	—	48.00	—		
2020年3月期(予想)				48.00	96.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	356,000	2.3	32,000	3.6	34,000	2.0	21,000	2.5	408.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 - 社 (社名) 、除外 - 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	51,616,463 株	2019年3月期	51,616,463 株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	217,448 株	2019年3月期	216,771 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	51,399,319 株	2019年3月期3Q	51,399,895 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は2020年2月12日(水)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では緩やかに景気が回復しているものの、欧州や中国での経済成長の鈍化や米中間の通商問題に加え、中東情勢の緊迫化など先行き不透明な状況で推移しました。また国内経済においては、企業収益や雇用情勢が改善するなど緩やかな回復基調が続きましたが、製造業を中心に弱含みとなり、消費税増税後の消費動向には一部に厳しさが見られます。

国内の住宅関連業界は、新設住宅着工戸数において賃貸住宅を中心に伸びが鈍化しており、またリフォームや住宅設備機器の買替え需要も消費税増税後の反動減が見られます。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画「G - s h i f t 2 0 2 0」の2年目にあたり、「熱と暮らし」「健康と暮らし」をキーワードに、グローバル市場で生活レベルの向上に寄与していくことや、既存商品やサービスの提供だけでなく、自社のコア技術に新しい技術を取り込み応用発展させた独自の商品・サービスを創出すべく取り組みを進めてまいりました。販売面につきましては、韓国などで前年を下回り減収となりました。損益面は、国内における増収効果や原価低減活動による収益改善やアメリカでのタンクレス給湯器の好調な販売により営業利益は増益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2,518億51百万円（前年同期比2.0%減）、営業利益244億45百万円（前年同期比10.2%増）、経常利益254億71百万円（前年同期比5.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は153億54百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

セグメントの業績の概況は次のとおりであります。

〈日本〉

消費税引き上げに伴う駆け込み需要によって増加していたビルトインコンロには、増税後の反動減が見られるものの、ガス衣類乾燥機の販売が好調に推移しており、日本の売上高は1,381億74百万円（前年同期比1.4%増）となりました。また、増収効果に加え、原価低減活動による収益改善によって営業利益は169億43百万円（前年同期比20.3%増）となりました。

〈アメリカ〉

利便性の高いタンクレス給湯器の販売が拡大していることに加え、ハイグレードの商品となる高効率給湯器の割合が増えていることにより、アメリカの売上高は238億92百万円（前年同期比11.2%増）となりました。また、販促費用の減少もあり営業利益は12億19百万円（前年同期比110.4%増）となりました。

〈オーストラリア〉

主力商品となるタンクレス給湯器の販売好調に加え、貯湯式給湯器の全国展開や、取り扱い店舗が拡大しているエアコンの販売が順調であったものの、為替の影響によりオーストラリアの売上高は181億23百万円（前年同期比3.9%減）となりました。また、現地通貨安による仕入コストの上昇により、営業利益は7億5百万円（前年同期比58.5%減）となりました。

〈中国〉

農村部におけるボイラー需要の大幅な減少により中国の売上高は298億63百万円（前年同期比9.5%減）となりましたが、高付加価値商品である給湯器の販売が回復傾向にあることに加え、当年度より広州林内燃具電器有限公司を連結子会社としたことにより、営業利益は28億62百万円（前年同期比12.3%増）となりました。

〈韓国〉

景気低迷による市場の縮小や他社の安価攻勢により主力商品であるガスコンロやボイラーの販売が減少し、韓国の売上高は195億90百万円（前年同期比13.7%減）、営業損失は5億39百万円となりました。

〈インドネシア〉

主力商品であるテーブルコンロにおいて市場の動きに力強さがなく、インドネシアの売上高は79億99百万円（前年同期比15.5%減）、営業利益は10億4百万円（前年同期比21.4%減）となりました。

(参考1) 機器別売上高の内訳

機器別	前第3四半期累計期間 (2018年4月1日 ～12月31日)		当第3四半期累計期間 (2019年4月1日 ～12月31日)		増 減		前期 (2018年4月1日 ～2019年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
給湯機器	147,374	57.4	141,793	56.3	△5,581	△3.8	202,630	58.2
厨房機器	67,388	26.2	66,325	26.3	△1,063	△1.6	88,322	25.4
空調機器	14,968	5.8	14,695	5.8	△272	△1.8	19,642	5.6
業用機器	6,159	2.4	6,265	2.5	106	1.7	8,452	2.4
その他	21,009	8.2	22,772	9.0	1,762	8.4	28,974	8.3
合 計	256,900	100.0	251,851	100.0	△5,048	△2.0	348,022	100.0

(参考2) 海外売上高

	前第3四半期累計期間 (2018年4月1日～12月31日)			当第3四半期累計期間 (2019年4月1日～12月31日)		
	アジア	その他の 地域	計	アジア	その他の 地域	計
I 海外売上高 (百万円)	78,327	49,125	127,452	69,298	50,645	119,943
II 連結売上高 (百万円)	—	—	256,900	—	—	251,851
III 海外売上高の連結売上高に 占める割合 (%)	30.5	19.1	49.6	27.5	20.1	47.6

(注) 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて64億44百万円増加し4,373億30百万円となりました。また、負債は16億17百万円減少し1,085億71百万円となり、純資産は80億62百万円増加し3,287億58百万円となりました。これらの結果、自己資本比率は70.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月9日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	140,264	149,083
受取手形及び売掛金	67,687	73,433
電子記録債権	9,290	9,793
有価証券	17,126	6,807
商品及び製品	28,988	30,773
原材料及び貯蔵品	16,728	16,684
その他	2,281	2,587
貸倒引当金	△1,476	△1,565
流動資産合計	280,891	287,596
固定資産		
有形固定資産	82,854	83,329
無形固定資産	5,743	3,547
投資その他の資産		
投資有価証券	36,912	38,479
その他	24,541	24,441
貸倒引当金	△58	△65
投資その他の資産合計	61,395	62,855
固定資産合計	149,993	149,733
資産合計	430,885	437,330
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,446	19,409
電子記録債務	32,057	31,777
未払法人税等	4,863	3,071
賞与引当金	4,540	2,319
製品保証引当金	3,947	3,605
その他の引当金	916	650
その他	21,577	24,850
流動負債合計	88,350	85,686
固定負債		
環境対策引当金	2,255	2,255
その他の引当金	109	96
退職給付に係る負債	10,401	9,751
その他	9,073	10,782
固定負債合計	21,838	22,885
負債合計	110,188	108,571
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,459	6,459
資本剰余金	8,756	8,756
利益剰余金	276,143	287,600
自己株式	△1,864	△1,868
株主資本合計	289,495	300,948
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,599	6,170
為替換算調整勘定	△488	△4,706
退職給付に係る調整累計額	4,529	3,811
その他の包括利益累計額合計	9,640	5,276
非支配株主持分	21,560	22,534
純資産合計	320,696	328,758
負債純資産合計	430,885	437,330

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	256,900	251,851
売上原価	173,260	168,333
売上総利益	83,639	83,517
販売費及び一般管理費	61,463	59,072
営業利益	22,175	24,445
営業外収益		
受取利息	665	812
受取配当金	493	392
為替差益	250	—
その他	785	489
営業外収益合計	2,194	1,693
営業外費用		
支払利息	0	31
為替差損	—	245
固定資産除却損	186	274
その他	35	117
営業外費用合計	222	667
経常利益	24,148	25,471
特別利益		
補助金収入	69	—
特別利益合計	69	—
特別損失		
特別退職金	—	697
固定資産圧縮損	69	—
特別損失合計	69	697
税金等調整前四半期純利益	24,148	24,773
法人税、住民税及び事業税	6,831	6,664
法人税等調整額	194	642
法人税等合計	7,026	7,307
四半期純利益	17,121	17,466
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,104	2,111
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,017	15,354

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	17,121	17,466
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,366	570
為替換算調整勘定	△4,520	△5,147
退職給付に係る調整額	△378	△716
その他の包括利益合計	△6,265	△5,292
四半期包括利益	10,855	12,173
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,779	10,986
非支配株主に係る四半期包括利益	1,076	1,186

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

一部の在外子会社において、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用し、借手の会計処理として原則すべてのリースについて四半期連結貸借対照表に資産及び負債を計上しております。

当該会計基準の適用にあたり、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	アメリカ	オースト ラリア	中国	韓国	インド ネシア	計			
売上高										
外部顧客への売上高	136,204	21,477	18,854	33,006	22,700	9,468	241,712	15,187	-	256,900
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26,404	-	100	1,213	826	531	29,075	2,004	△31,080	-
計	162,609	21,477	18,954	34,219	23,526	10,000	270,788	17,192	△31,080	256,900
セグメント利益又は 損失(△)	14,090	579	1,699	2,549	△379	1,278	19,816	2,429	△70	22,175

(注) 1. その他には、台湾、タイ、ベトナム、ニュージーランド、ブラジル等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	アメリカ	オースト ラリア	中国	韓国	インド ネシア	計			
売上高										
外部顧客への売上高	138,174	23,892	18,123	29,863	19,590	7,999	237,643	14,207	-	251,851
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26,582	-	106	1,202	705	414	29,011	1,732	△30,743	-
計	164,756	23,892	18,230	31,065	20,296	8,414	266,654	15,939	△30,743	251,851
セグメント利益又は 損失(△)	16,943	1,219	705	2,862	△539	1,004	22,197	2,102	145	24,445

(注) 1. その他には、台湾、タイ、ベトナム、ニュージーランド、ブラジル等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。